

広島大学大学院総合科学研究科 21世紀プロジェクト 「言語と情報研究プロジェクト」 第71回公開セミナー

演者: 藤原康弘(名城大学)・仲潔(岐阜大学)・柴田美紀(広島大学) [発表順]

演題: グローバル人材の言語観

日時: 2019年1月11日(金) 15:00~17:00

会場: 広島大学総合科学研究科 教室(K202)

言語(英語)運用能力は「グローバル人材」にとって不可欠である。本シンポジウムでは、自明の理のごとく使われている「グローバル人材」ということばを「言語使用者」の観点から紐解き、グローバル人材育成を目指す英語教育がどこに向かっているのか、そしてどこへ向かうべきなのかを議論する。

まず、藤原氏が「国際人」や「グローバル人材」の概念が抽象的で曖昧なままで、その育成が英語科教育に任されている点を取り上げる。それを踏まえ、国際的な英語使用の具体的なシーンを視聴し、グローバル化時代に目指すべきコミュニケーションのあり方や「ことば」の役割を論じる。

仲氏は、英語科教育におけるコミュニケーション能力観が、学習者を既存の価値観や社会構造に対して従順な機械にしてしまうことを指摘し、現状の英語科教育が「英語のできる反グローバル人材」を育成する危険性を論じる。

柴田氏は英語とその話者に対する言語態度に潜む「英語学習者アイデンティティ」「非母語話者アイデンティティ」を取り上げ、グローバル人材＝言語使用者であり、英語話者ではないと主張する。

3名の発表につづき、フロアとのディスカッションを行い、グローバル時代の言語運用を考える。

※教員、大学院生、学部生、他大学教員・学生、どなたでも参加自由です（申し込み不要）

● 連絡先: 柴田美紀 shibatam@hiroshima-u. ac. jp ●